
TOKYO FM 開局 42 周年記念式典挨拶 (代表取締役社長 富木田 道臣)

株式会社エフエム東京は、2012年4月26日(水)午前10時30分より、TOKYO FM ホールにて、TOKYO FM 開局 42 周年記念式典を実施し、代表取締役社長・富木田道臣が、以下の挨拶を述べました。



開局記念日とは、我々の原点を改めて見つめ直し、道を切り開いて頂いた先輩の皆様方へ深く感謝し、ありがたい未来を思い描く、意義深い日だと思います。

実験局から54年、開局から42年を迎えた現在では、時代もメディア環境も大きく変化しました。しかしながら、当社の設立の意図や、開発とチャレンジのDNAは引継がれなくてはなりません。政治や経済を始め、社会が混迷を極めている今、当社はメディアとして日本独自の問題にきちんと取り組み、聴取者のところに共感の渦を巻き起こし、新たなリスナーを創造し続けなければなりません。

これからは「感動を提供し、共感を頂く」という理念の実践に徹して、音声から映像、ソーシャルメディアに至るまで様々なメディアを統合してコミュニケーションする新たなクリエイティブを開発・実現していく必要があります。クリエイティブ・イノベーションの要諦は、「Buzzを起こし、それを様々なメディアを統合してうねりとして上げ、社会現象を起こしていくこと」であります。常に「Buzz」の発信源となり、新しい文化を生み出し社会に影響力を持つメディア集団を目指して行こうではありませんか。そのためにはTOKYO FM グループ全社の一人一人が今以上に連携して、総合力を発揮して戦っていかなければなりません。

開局20周年当事に全社員で作ったコーポレート・コンセプトを「ありがたい未来」のために再確認してみたいと思います。

『我々は独自のスタンスの下、感動を生み出す企業体としての、オリジナリティのある事業展開が必要である。常に時代を捉える目と、新しい価値としての文化を育てていく姿勢と、新しい市場を創造していく役割を持つことがオリジナリティの確立につながっていく。その為には社員一人一人が弛まぬ自己変革によりリーダーシップを発揮し、他人を信頼し、刺激し、課題に挑戦する情熱と気迫の行動が必要である。』

クリエイティブとは「人」が創り出すものです。我々の財産は「人材」しかありません。夢と信念を持ち、自らの責任においてチャレンジする人材がイノベーションを生み出します。それが、人の心を、社会を動かすのです。

震災に学んだように、世の中に目を向け、人の為に、聴取者の為に何が出来るかに徹して、全員が連携して行動することがレイティング No.1 はもちろん、グループの全体最適価値を生み出します。自由闊達で、クリエイティブで、コンプライアンス重視のプロの集団として、互いに信頼し、刺激しながら、おおらかに、ひたむきに新しい価値の創造に取り組んでいきましょう。みんなで行きましょう。

以上